



地域の皆さまの健康をサポートいたします

院外広報誌

札幌清田病院だより

No.3
2014.11

発行
社会医療法人
札幌清田病院

スタッフステーション
STAFF STATION



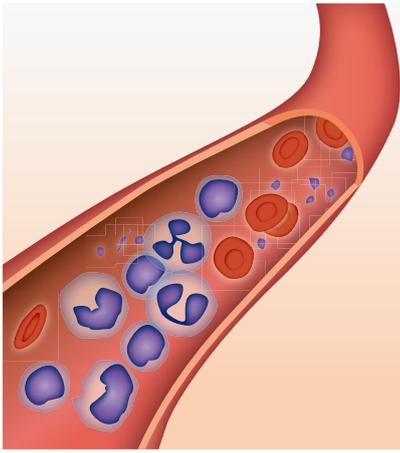
血液
内科

新薬・自家移植

進化している「血液のがん治療」

社会医療法人
札幌清田病院
理念

良質な専門医療を提供して地域社会に貢献する。
個別性と継続性を尊重した思いやりのある医療をめざす。



血液内科

新薬・自家移植 進化している 「血液のがん治療」

血液のがん（造血器悪性腫瘍）には、白血球ががん化して増殖する「白血病」「悪性リンパ腫」「多発性骨髄腫」といった病気があります。かつては「治りにくい」「不治の病」というイメージがありましたが、近年の医療の発達や新薬の登場で治癒を目指せるようになりました。

高齢者の血液疾患が増えています

当院の血液内科で治療している患者さんの約7割が「血液のがん」と呼ばれる造血器悪性腫瘍です。高齢社会が進むに従い、60代、70代で発症するケースが増えています。

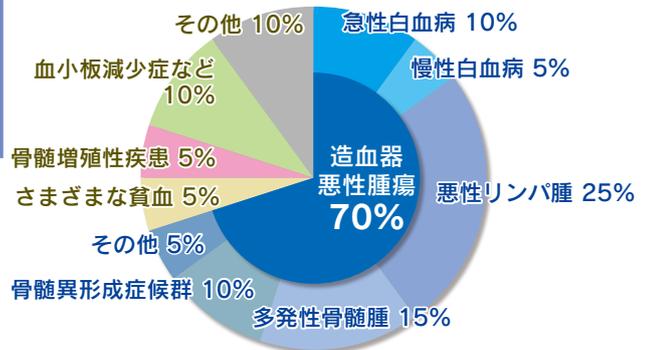
血液の病気の診断には、採血による検査や骨髄穿刺・生検、リンパ節生検など専門の検査が必要です。次のような症状がありましたら、血液内科を受診し検査を受けましょう。

血液疾患の症状

- 疲れやすい、動悸、息切れなどがある
- 健康診断で、白血球、赤血球、血小板の数値の異常が指摘された
- 画像検査でリンパ節や脾臓の腫大を指摘された
- ぶつけてもいらないのに、紫斑（皮下出血）が頻繁にできる
- 出血しやすい、血が止まりにくい
- 連日の寝汗が多い



当院の血液内科における 血液内科の入院患者さんの内訳



貧血にも要注意！

貧血の原因を調べると、胃がんや大腸がんなどの悪性腫瘍や胃潰瘍、大腸ポリープなどから出血していたり、女性の場合には生理による出血や子宮筋腫などが起因していることもあるので、早めの診断・治療が大切です。

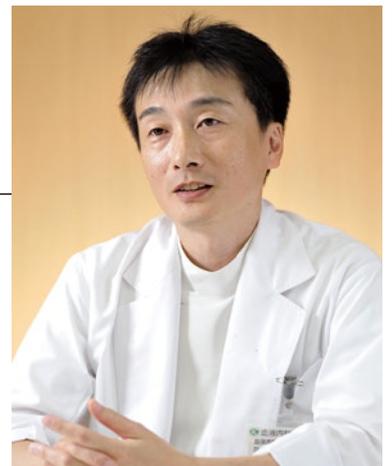
大腸ポリープ

胃潰瘍

悪性腫瘍

血液内科部長 長町 康弘

【専門】
血液内科・消化器内科・腫瘍内科
【資格認定】
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



新たな治療方法も 積極的に導入

急性白血病に対しては、多剤併用の化学療法を行い、慢性骨髄性白血病には、チロシンキナーゼ阻害薬（分子標的治療薬）を導入しています。

悪性リンパ腫や、多発性骨髄腫は、多剤併用化学療法後、自家末梢血幹細胞移植を併用した抗がん剤治療を行い、寛解を目指しています。さらに、多発性骨髄腫においては、サリドマイドやレナリドミド、ボルテゾミブなどの新規薬剤を積極的に導入し、これらを使用した維持療法や多施設共同研究を行い良好な成績を得ています。

高齢の患者さんに対しては、少量化学療法や緩和療法などにも対応。NST（栄養サポートチーム）を中心とした栄養指導や口腔内ケアが効果を上げ、化学療法後や移植後の口内炎の痛みや感染症による発熱などの副作用を最低限に抑えています。

造血幹細胞移植が必要な患者さんは、札幌医科大学付属病院などと連携し、スムーズな治療継続を行っています。

無菌室で行う

自家末梢血幹細胞移植

自家末梢血幹細胞移植は、あらかじめ患者さん自身の正常な造血幹細胞を採取し凍結保存し、血液のがん細胞を抗がん剤投与で根絶した後に、凍結保存した幹細胞を点

滴で体内に戻し移植する治療法です。患者さん自身の細胞を使うことから拒絶反応が起らない利点があります。

しかし治療中は免疫力が著しく低下し、細菌やウイルスに感染しやすくなることから、空気清浄度の高い無菌室での治療が必要です。

当院には、空気清浄度が高い「クラス10000無菌室」2床と「クラス10000無菌室」3床があり、安全な環境下で高度な治療を行っています。

自家末梢血幹細胞移植



患者さん自身の流血中の**造血幹細胞**を採取し凍結保存

体内の悪性細胞や機能不全の骨髄を徹底的に根絶

凍結保存していた**造血幹細胞**を点滴で移植

無菌室

高い空気清浄度を確保し 高度な専門治療を安全に実施

外部からの塵埃侵入を防ぐ超高性能エアフィルターで層状の空気を一方向に送り込むシステムによって、高い空気清浄度を確保しています。空気の清浄度を表す「クラス1000」は1フィート（30・48センチ）立方中に0・5ミクロン以上

の微粒子が1000個以下で、「クラス10000」は同じ範囲内に微粒子が1万個以下となります。数字が小さいほど細菌やウイルスの少ない空間となり、クラス1000は無菌状態に近い環境です。



4階病棟クリーンルームにある無菌室



クリーンルーム入口



トイレとシャワー室、洗面台が付いています

北海道福祉のまちづくり賞を受賞しました

北海道が主催する「平成26年度北海道福祉のまちづくりコンクール」の公共的施設部門において、当院が「北海道福祉のまちづくり賞」を受賞しました。



広岡篤美 事務部長

このコンクールは北海道が「障がいのある人もない人も、お年寄りも子どもも、だれもが住みよい地域社会づくりを道民全体で進めていくこと」を目指し、1998年から開催しています。



当院は2013年7月末に隣地に新築移転。新病院建設にあたっては、院内の構造や設備に福祉的配慮を行い、その点が高く評価されました。10月17日に白石区のアクセスサポークで行われた表彰式には広岡篤美事務部長が出席し、北海道知事から表彰状を授与されました。

当法人は社会医療法人の認定を受けました

名称が「社会医療法人 札幌清田病院」に変わりました
(旧名称・医療法人 札幌清田病院)

当院は2014年9月1日に北海道知事の認定を受け、社会医療法人としての新しいスタートを切りました。社会医療法人は「公益性・公共性が高く、地域にとつて不可欠な医療を提供している機関」であることを示します。

これを機に職員一同が新たな決意を持ち、地域住民の皆様のための医療活動に全力で取り組みますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

【社会医療法人 札幌清田病院 理事長 西里卓次】

私たち札幌清田病院は医療による地域貢献に努めます

【基本方針】

1. 消化器病とがんの専門病院として診断から治療まで一貫した最良の医療を提供する。緩和ケア、在宅ケアを重視するとともに疾病の予防にも努力する。
2. 患者さんと家族の意志を尊重し、適切な情報提供によって患者さんを中心としたチーム医療の実現をめざす。
3. 地域の他医療機関と連携し、地域完結型の医療を志向し、地域社会の健康増進に貢献する。
4. 医療の質向上のため、職員の教育研修に努め、安全な医療サービスの提供体制を確立する。

【患者さんと家族の権利】

私たちは、当院に来院される患者さんと家族の方の、次の権利を尊重します。

1. 基本的人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか受けないかを決定する権利
5. 健康であるために情報を求める権利

札幌清田病院への交通アクセス

●中央バス

JR 札幌駅 発	(80) 月寒本線 (85) (86) 清田団地線 (88) 真栄団地線	「清田団地入口」停車
中央バス 札幌ターミナル 発	(97) 千歳線・広島線 (96) 柏葉台団地線 (113) 大曲光線	
地下鉄南北線 平岸駅 発	(平50) 平岸線	
地下鉄東豊線 福住駅 発	(福80) 月寒本線 (福85・86) 清田団地線 (福87) 有明線 (福88) 真栄団地線 (福96・97) 柏葉台団地線 (福113) 大曲光線	「真栄」停車
地下鉄東西線 大谷地駅 発	(大87) 有明線 (大88) 真栄団地線	

外来診療のご案内

診療科目	受付時間	8:30	12:00	17:00
内科・消化器内科・腫瘍内科・血液内科・リウマチ科	月～金	■	■	■
	土	■	■	
循環器内科	火・水・金	■	■	■
呼吸器内科	第1・第3水			■
	第1金			■
外科・消化器外科・肛門外科・内視鏡外科	月～土	■	■	■

※緩和ケア内科については、お問い合わせください

【休診日】日曜日・祝日

※夜間・休日・時間外の急患は
当直医師により随時診療

【売店営業時間】
平日 8:45～17:30
土曜日 8:45～15:00



Quality of Life

社会医療法人 札幌清田病院

ホームページ

<http://kiyota-hp.or.jp/>

〒004-0831 札幌市清田区真栄1条1丁目1番1号 TEL: 011-883-6111 FAX: 011-882-7477